

大河原梓
(土浦湖北)畠知博
(水海道一)

陸上の全国高校総体（インターハイ）最終予選となる北関東大会は17～20日、東京・駒沢陸上競技場などで開かれる。男子21、女子17の各種目で上位6人（競歩は4人、七種・八種競技は3人）がインターハイ出場権を獲得する。県勢は男女とも投てき種目で優勝を狙う有力選手がそろい、トルック種目も全国を見据

北関東高校陸上 あす開幕

女子 円盤投げ、大河原V狙う

男子 染谷、100・200連覇挑む

染谷佳大
(つくば秀英)鈴木勝治
(多賀)

男子円盤投げの畠知博（水海道一3年）は北関東出場選手ランク1位で、優勝候補の筆頭。

県大会で48kg39の大会新記録を出した勢いを生かしたい。県大会2位の高橋史門（江戸川学園3年）

も表彰台を見据える。

ハンマー投げは県大会で優勝争いを演じた飯嶌将治（波崎3年）、石川

も表彰台を見据える。

男子100m、200m

の染谷佳大（つくば秀英3年）は2年連続の2

冠が懸かる。インターハイ優勝に向けて弾みをつけたい。5000m競歩

の鈴木勝治（多賀3年）は関東選抜新人選手権で

頂点に立った実力者。県大会で大会記録を更新し、好調を維持している。

1600mリレーは男子のつくば秀英と土浦湖北、女子の土浦湖北が6位入賞を目指す。

え注目だ。

女子円盤投げの大河原梓（同）は県大会で全国ランク1位となる46kg33を記録した。実力は頭一つ抜けている。やり

投げは杉山沙巴羅（同2年）が優勝争いに加わりそう。

諒（水戸工2年）が頂点を狙う。やり投げの谷中亮太（土浦湖北3年）は関東選抜新人選手権に続く優勝なるか。